

第3回鶴岡市中小企業振興会議

日時 令和7年9月25日（木） 14：00～

場所 鶴岡市役所別棟2号館 21～23会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

（1）鶴岡市中小企業振興会議について

（2）多様な働き方について（ワークショップ）

（3）その他

4 閉 会

資料一覧

資料 1 中小企業振興会議 委員名簿

資料 2 鶴岡市中小企業振興会議

これまでの協議内容と本日の進め方について

資料 3 多様な働き方について（ワークショップ）

資料 4 出席者名簿

鶴岡市中小企業振興会議 委員名簿

順不同・敬称略

委 員

氏 名	役 職	団体・組織名	備 考
青木 孝弘	教授	東北公益文科大学	学識経験者、会長
玉津 弘之	理事	山形県中小企業家同友会	企業代表
鈴木 俊将	直前理事長	鶴岡青年会議所	企業代表 (若手経営者)
大橋 由明	代表取締役	フェルメクテス(株)	企業代表 (ベンチャー)
高橋 健彦	専務理事	鶴岡商工会議所	支援機関
池田 ゆり子	事務局長	出羽商工会	支援機関
村上 良一	常務理事	庄内地域産業振興センター	支援機関
屋代 高志	事務局長 (地域対策部長)	連合山形 鶴岡田川地域協議会	労働団体
藤原 牧	荘内銀行 執行役員本店営業部長	鶴岡市金融協会	金融機関
卯野 登志光	所長	鶴岡公共職業安定所	行政機関
阿部 真一	副市長	鶴岡市	行政機関

オブザーバー

安藤 詠子	産業経済部長	山形県庄内総合支庁
-------	--------	-----------

事務局

三浦 一夫	商工観光部長	鶴岡市
坂口 礼奈	商工課長	鶴岡市
池田 勝人	商工課長補佐	鶴岡市
丸山 大輔	商工課主査	鶴岡市

鶴岡市中小企業振興会議

これまでの協議内容と 本日の進め方について

令和7年9月25日

鶴岡市商工課

1

鶴岡市中小企業振興会議の背景・趣旨

背景

- ・従業者300人未満の企業
事業所数では約99%
従業者数では約91%
=市内事業所のほとんどが中小企業

鶴岡市の特色

- ・電子デバイス製造業、食料品製造業、繊維工業などの集積
- ・製造品出荷額：県内1位
- ・高等教育研究機関（山大農学部、慶応先端研、公益大大学院、鶴岡高専）
- ・サイエンスパーク・バイオクラスター・ベンチャー企業など
- ・食文化創造都市、日本遺産、温泉

課題と方向性

- ・少子高齢化・人口減少
- ・担い手不足の深刻化
- ・災害の脅威とリスクの高まり
- ・国際化やデジタル化への対応

⇒「鶴岡市中小企業振興計画」を策定、
施策を総合的・計画的に推進
⇒施策の実行性を高め、地域経済の活性化
を促進する

「鶴岡市中小企業振興会議」の趣旨

市内の中小企業及び小規模企業の振興に関する効果的な施策の推進のため設置

会議での協議事項

- (1) 鶴岡市中小企業振興計画の策定及び変更に関すること
= 策定・変更時に関係者意見を広く聴取
- (2) 振興計画に基づく施策の実施状況の検証に関すること。
= 客観的な効果検証と見直し
- (3) 上記のほか、中小企業等の振興施策に必要な事項に関すること。

今年度「中小企業振興会議」のゴール

- ✓ 中小企業振興計画の策定（意見反映）
 - ✓ 次年度予算・施策への反映
- （会議は公開で実施し、意見については市HP等で公表する）

2

第1回開催概要・主な発言内容

開催概要

開催日 2024年8月26日（月）
参加者 委員11名（別紙）
主な内容 中小企業に関する課題感や対応策などについてテーマを定めず意見交換

主な発言内容

企業活動・経営について

- ・ 企業訪問等で小規模事業者の生声反映を
- ・ 高齢化が深刻。事業承継や円滑な廃業支援が必要
- ・ コロナのゼロゼロ融資の返済が始まっており相談も増えている
- ・ 地域循環型産業に民間主導で取り組んでいる事例も参考になる

人材確保・若者定着

- ・ 社内にIT人材不在。人材のマッチング重要
- ・ 社外・域外に営業活動を支援する人材ほしい
- ・ 高卒新規採用の地元就職割合が低く、女性の県外流出が高い
- ・ インターンシップを通じた学生・企業の学び合いが重要
- ・ 若者に地元をよく知ってもらうことが重要。

誰もが働きやすい環境づくり

- ・ 出産・育児は社員にとっても地域にとっても重要
- ・ 時間休や定時退社、キャリアプランづくりを奨励
- ・ 会社でなく働く人に合わせた仕事の割振りや環境づくりが必要
- ・ フレキシブルな働き方を求める人、特に若者や女性は時間重視の人多い
- ・ 潜在的な労働力の発掘、仕事や人の組合せが重要

⇒ 人手不足対応（若者定着・多様な労働力の活用・多様な働き方の推進）や経営継続（事業承継や融資対応含む）が主な話題となった

3

第2回開催概要・主な発言内容

開催概要

開催日 2025年2月14日（金）
参加者 委員11名（別紙）
主な内容 地域の労働力不足への対応/多様な労働力・働き方について意見交換

主な発言内容

優良企業の支援・PR

- ・ 働く環境、給与等の条件が充実している企業を増やす
- ・ 特に女性・若者活躍が魅力を感じる「優良企業」を支援し、PRする

マルチワーク推進

- ・ 多様な働き方を進める（組み合わせる）仕組みづくり
- ・ 空き家活用やリモートワーク
⇒ ハード・ソフトを含めた検討

DX活用・人材育成

- ・ 企業側で推進する人材不足、育成機会の設定
- ・ 事業者のスキルアップ支援
- ・ IT専門人材の育成・勉強会実施

共生のための取組

- ・ 外国人・障害者が暮らしやすく働きやすい環境
- ・ 地域内事業者や組織が連携した取組や、支援する人材の育成

⇒ 4つの提案についての1つを取り上げて、先行的な取組を行っている方からの講演や参加者のグループワークのような形で情報・意見交換をしてはどうかと提案があった

⇒ 次回は「より開かれた場」で事例をききながら学ぶ機会について設定することとした

4

第3回会議(本日)の概要と目的

開催概要

開催日 2025年9月25日(木) 14:00~
参加者 委員11名+東北公益文科大学学生4名+一般の方+事務局(市)
(レクチャー+ワークショップ形式)
テーマ **多様な働き方時代のフリーランスと企業の出会い方**
— 個と組織をつなぐ新しい働き方へ — …レクチャー・WS

目的

- ・人手不足の解消手法の一つである「**仕事の切り出し**」と「**多様な働き方**」について考える
- ・特に、フリーランスや個人事業主をはじめとする**専門人材と、人材活用したい企業**が一緒に考える
- ・「**地域の魅力的な仕事や働き方**」について、世代を越えて考える機会とする

第3回会議のゴール

- ・中小企業振興計画への反映
- ・次年度予算・施策への反映
- ・会議は公開で実施し、意見については市HP等で公表する

会議の内容

- (1)レクチャー① 講師:大橋由明氏
 - ・企業から見た専門人材の重要性
 - ・人材の活用手法。課題と解決方法の視点
- (2)レクチャー② 講師:新堀貴美氏
 - ・専門人材から見た地域・企業の課題
 - ・なぜフリーランススナックが必要か
- (3)ワークショップ
(ファシリテーション公益大 青木教授)
 - ・お二人の話をきいてみての感想や気づき
 - ・職場・働き方についてのアイデア

5

第3回会議の進め方

14:05~14:15(10分) 前回までの振り返り・本会議の趣旨説明(事務局)

14:15~14:35(20分) レクチャー① 講師:大橋由明氏

＜ご紹介いただく内容＞

- ・必要な専門人材について、定年後起業した方や現在は首都圏で居住している方などにいろいろな方にお声がけし、人材を確保されている。
- ・企業経営者として専門人材の確保に柔軟に取り組んでいる立場から、実践例や工夫、課題(特に確保に苦労している点など)を紹介いただく

14:35~14:55(20分) レクチャー② 講師:新堀貴美氏

＜ご紹介いただく内容＞

- ・第2期イノベーションプログラムで構想された「フリーランススナック」を実現し、今年4月より「合同会社ツナギヤ」として起業、本町で開業されている。
- ・構想・開業に至った経緯、フリーランス人材同士や人材・企業間の結びつけについて取り組んでいること、課題・今後の展望について紹介いただく

15:00~16:30(90分) ワークショップ ファシリテーション 青木先生

自己紹介・レクチャー感想20分、グループワーク40分、プレゼン20分(うち休憩10分)

16:30~16:40(10分) まとめ

総括・今後への反映など(青木先生・事務局)

6

今後の予定

年月	事項
R7.9月25日 (本日)	第3回 中小企業振興会議開催
R7.12月	第4回 中小企業振興会議開催 ・鶴岡市中小企業振興計画案の提示・協議 もしくは ・深堀テーマについての協議
R8.2月	(計画案を策定する場合)パブリックコメント
R8.3月	鶴岡市中小企業振興計画の策定 ※議論の経過によっては延期

7

【別紙】 委員一覧

	氏 名	団体・組織・役職
1	青木 孝弘	東北公益文科大学 教授
2	玉津 弘之	山形県中小企業家同友会 理事
3	鈴木 俊将	鶴岡青年会議所 直前理事長
4	大橋 由明	フェルメクテス㈱代表取締役
5	高橋 健彦	鶴岡商工会議所 専務理事
6	池田 ゆり子	出羽商工会 事務局長
7	村上 良一	庄内地域産業振興センター 常務理事
8	屋代 高志	連合山形鶴岡田川地域協議会 事務局長
9	藤原 牧	鶴岡市金融協会(荘内銀行)
10	卯野 登志光	鶴岡公共職業安定所 所長
11	阿部 真一	鶴岡市 副市長

オブザーバー

庄内総合支庁 産業経済部長

8

多様な働き方について（ワークショップ）

資料 3

開催時間 : ワークショップ 15:00～16:30 (80分+休憩10分)
振り返り・まとめ 16:30～16:45 (15分)
参加人数 : 合計16名 (4グループ)・・・委員8名、学生4名、事務局4名

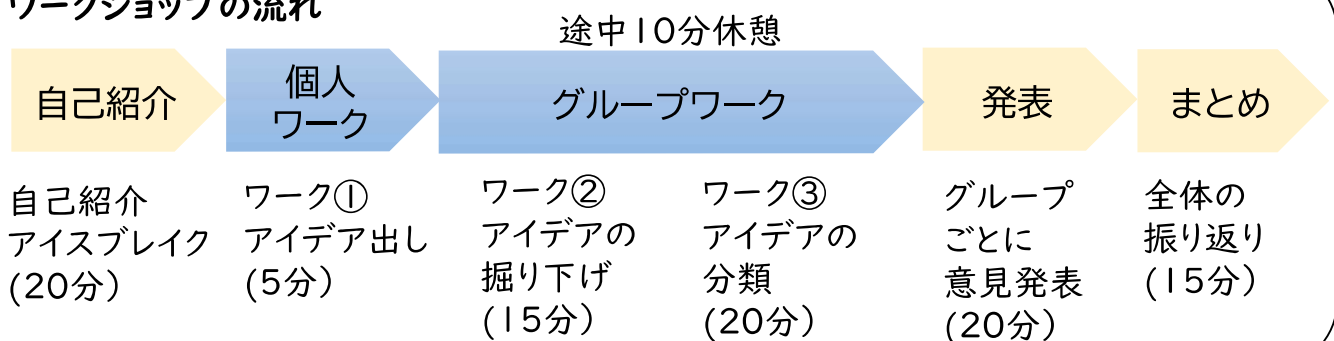
ワークショップの目的

- ・人手不足の解消手法の一つである「仕事の切り出し」と「多様な働き方」について考える
- ・「魅力的な仕事や働き方」とその実現方法について、立場（専門人材／企業／学生）や世代を越えて考える

ワークショップのゴール

- ・「魅力的な仕事や働き方」とその実現方法について、様々なアイデア・意見をいただく
- ・いただいたアイデア・意見は事務局で集約して、市HP等で公表する（氏名非公表）
- ・今後策定予定の「中小企業振興計画」や、市の予算・施策などに反映する

ワークショップの流れ



1

<グラドルール>

- 「他者の意見を否定しない」
- 「一人ひとりの発言を尊重する」
- 「思っていることを率直に述べる」
- 「失敗を恐れず、ためらわず発言する」
- 「ジャッジするようではなく、探求する姿勢で聞く、質問する」
- 「他者の時間を尊重する(時間を独占しない)」

<役割分担>

- 進行役 : 対話を促進し、全員が発言できるよう配慮する役割
- タイムキーパー : 時間を管理し、各セッションが予定通り進むよう促す役割
- 記録係 : 議論やアイデアを記録し、グループの思考を可視化する役割
- 発表者 : グループの成果を全体に発表する役割

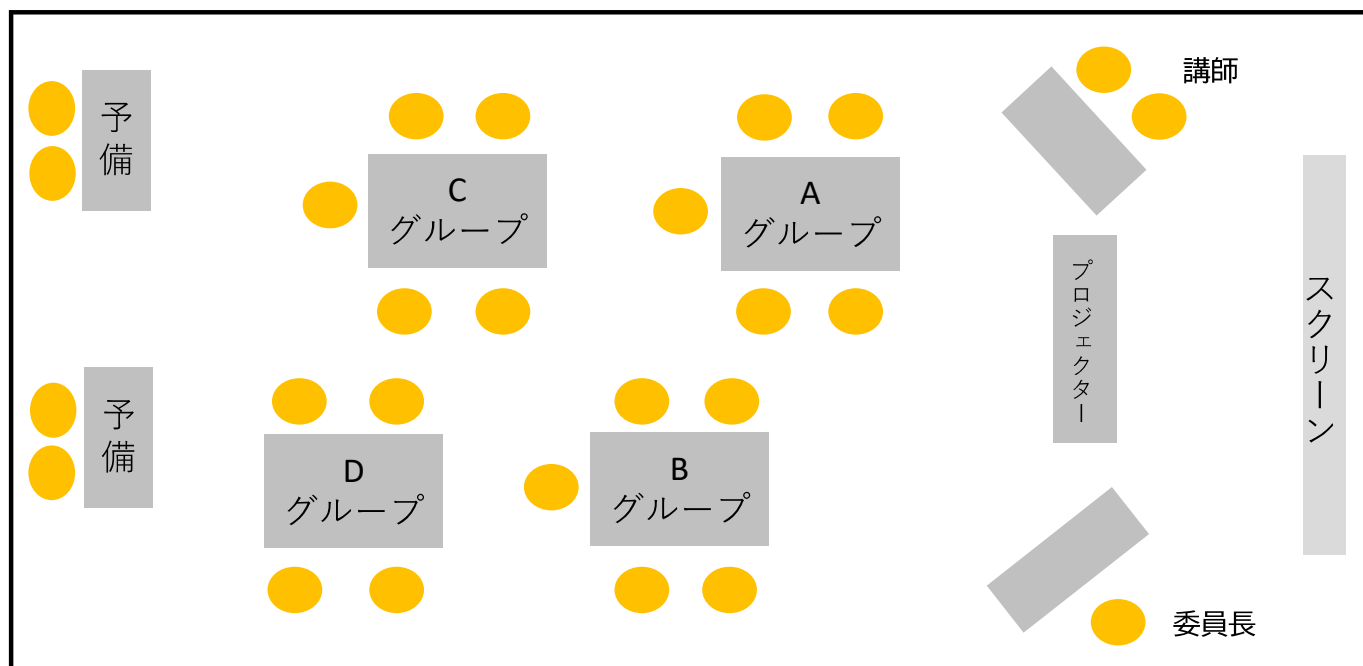
タイムテーブル

開始時刻	時間	実施内容	内容詳細	備品など
15:00	20分	自己紹介 感想・気づきの共有 役割分担	自己紹介 レクチャーをきいての感想 グループ内での役割を決める	アラーム
15:20	5分	ワーク① 個人 アイデア出し	どんな職場で働きたい？ どんな働き方をしたい？	ポストイット 模造紙 サインペン メモ用紙
	15分	ワーク② グループ アイデアの掘り下げ	こんな職場・働き方がよい！ ⇒そのためには何が必要？	
15:40	10分	休憩		
15:50	20分	ワーク③ グループ アイデアの分類	アイデアと実現のための手法 ⇒カテゴリー別に分類	同上
16:10	20分	発表	各グループ5分程度で発表	
16:30	15分	振り返り・まとめ	青木委員長や講師より 講評・感想	

3

会場レイアウト

- ・各グループは委員2名・学生1名・事務局1名の4名＋一般の方となるように着席いただく
- ・青木先生はファシリテーター



入口(廊下)

●配布資料(参加者に配布)

- ・次第、資料1～4
- ・お茶

●備品(各テーブルに配置)

- ・模造紙2枚
- ・サインペン5本
- ・ポストイット(2種類)
- ・メモ用紙5枚程度

4

ワークシート

ワーク①(個人で、いくつでも、思いつくまま)アイデアを出してみる
(どんな職場で働いてみたい? / どんな働き方をしたい?)

ワーク②(チームで、会話しながら、質問しながら)アイデアを掘り下げてみる
(どうやったら実現できる? / 何が課題となっているのだろう)

5

ワーク③ アイデアを分類してみる(下記は一例です)

分野	会社側・発注側	従業員側・受注側	行政その他
働く組織や 働く仕組み に関すること			
仕事のやり方 に関すること			
働く環境や職場に に関すること			
コミュニティや 人のつながり 地域での生活に に関すること			
支援制度や 支援する人・ 仕組みなど			

6

第3回鶴岡市中小企業振興会議 出席者名簿

【講師】

氏 名	団体・組織名	備 考
新堀 貴美	合同会社ツナギヤ	

【委員・オブザーバー】

氏 名	団体・組織名	備 考	グループ
青木 孝弘	東北公益文科大学	会長	ファシリテーター
鈴木 俊将	鶴岡青年会議所		A
大橋 由明	フェルメクテス(株)		講師
高橋 健彦	鶴岡商工会議所		B
長南 美香	出羽商工会	事務局長代理	C
屋代 高志	連合山形鶴岡田川地域協議会		D
藤原 牧	鶴岡市金融協会		A
卯野 登志光	鶴岡公共職業安定所		B
阿部 真一	鶴岡市		
伊藤 幸司	庄内総合支庁	オブザーバー 産業経済部長代理	D

【一般参加】

氏 名	団体・組織名	備 考	グループ
伊藤 紗良	東北公益文科大学		A
小山 亜沙美	東北公益文科大学		B
佐藤 弘将	東北公益文科大学		C
卯野 優菜	東北公益文科大学		D
石田 みどり	一般申込		A
成澤 施保	一般申込		B
安島 朋子	一般申込		C

【事務局】

氏 名	団体・組織名	備 考	グループ
三浦 一夫	鶴岡市		A
坂口 礼奈	鶴岡市		B
池田 勝人	鶴岡市		C
丸山 大輔	鶴岡市		D
難波 圭	鶴岡市		運営補助